

目指せ「はし名人」

はしを上手に使えますか？
食事をきれいに食べるには、
はしの持ち方や使い方がとても重要です。正しい持ち方を確認し、使い方を見直していきましょう。



はしの選び方
親指と人差し指の間の長さの1.5倍が目安。
★成長に合わせて、使いやすいものに変えましょう。



10月28日



梅しらす茶漬け・がめ煮・青のり大豆・牛乳



1年生教室での指導風景

10月18日（月）と10月28日（木）の給食の時間に各クラスで正しいはしの使い方を学びました。正しいはし使いは、一生の宝物です。ご家庭でもご指導をお願いします。

はしの持ち方

- えんぴつと同じように、親指・人差し指・中指で1本のはしを持つ。
- 数字の「1」を書くように、上下に動かす。
- もう1本のはしを、親指の付け根から、中指と薬指の間に通す。

上のはしを動かし、はし先を閉じたり開いたりして、食べ物をはさみます。

下のはしは動かしません。

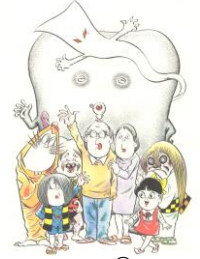
はしの動かしかたを練習しよう！

11月26日・30日 「ゲゲゲ忌にちなんだ給食」

調布市の名誉市民である漫画家・水木しげるさんは鳥取県境港市で育ち、その後、昭和34年から93歳までの間を調布で過ごしました。調布市では、水木しげるさんが亡くなった11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、いろいろな催しが行われています。そこで11月26日・30日の給食は「ゲゲゲ忌」にちなんだ給食を取り入れました。

- ・11月26日 むりかベトースト
- ・11月30日 目玉おやじゼリー

鳥取県郷土料理



※写真はイメージです

9月の給食写真はこちら↓

